

全体講評

「新試験制度を待った方がいるためか、例年に比べてレベルの高い受験者が多い」という全体講評です。午前・午後では、本試験と違い、公開模試では過去問題を出題していないので、結果的に難易度は高かったと判断します。午後試験は、本試験と同程度の難易度だったと判断します。午後は、設問において明示的に、前述した内容を踏まえる展開を求めているため、この論旨展開を盛り込むことが難しかったと判断します。それにもかかわらず、高得点者が多いことは、受験者全体のレベルの表れと判断します。

例年に比べて体裁の整った解答が多いことから、レベルの高い試験になることが予想できます。以前は、(1) 解答を「体言止」で書く、(2) 問題の選択が適切でない、(3) 第三者を意識していない分かりにくい解答を書く、など、改善すべき解答が多いという状況でした。解答の 8% ほどは改善すべき課題がありました。しかし、今年は、そのような解答は 3% 台と少ないという状況でした。このことから、以前、アプリケーションエンジニア試験を合格した方が再度、受験し直すパターンが多いのでしょうか、例年よりもレベルの高い本試験になると予想できます。

次に午後 記述式問題の各問について、講評と採点基準を説明します。

〔午後 記述式問題講評〕

問1 営業支援システムの要件定義

【別解】

〔設問 2〕(2) 販売促進情報

〔設問 3〕(2) パソコン端末をノート PC へリプレイスする。

【解説】

難易度の高い問題となりました。営業支援システム導入後の営業業務を、あえて問題に明示していないため、現行の営業業務と業務改善の概要から、新しい営業業務を類推しなければなりません。そのことが、結果として難易度の高い問題となった要因と判断します。

〔設問 1〕(1) チームでの顧客対応について書いた解答は正解としました。

(2) 個人情報保護法に関する知識に基づいて解答することが設問で求められています。個別に管理してい

ても、個人情報データベースに該当するケースはあるので「個別に管理しているから」という解答については、厳しいですが、不正解としました。

「個人情報データベース等」に該当していない理由を、「データベース化されていない」等の文章を使って解答したものは、十分な理由になっていないと判断し、不正解としました。

(3) 設問では「販売促進情報の共有化を推進するための改善策」と明示しています。受注や売上に関しての解答が多くありましたが、厳しいですが不正解とし、販売促進情報について解答しているものを正解としました。

〔設問 2〕(1) この設問において、データの発生源、吸収先には「システム名称」も入ることがあることを確認してください。

(2) 問題の〔現行の販売業務〕の(2)の記述から、顧客基本情報を含めた情報の総称が販売促進情報ですから、販売促進情報を別解とします。

〔設問 3〕(1) 正答率が高いです。厳しいですが、非機能要件という解答以外は不正解としました。

(2) 業績評価に関する解答については、「チーム」というキーワードがない解答は、厳しいですが、内容が合っても半分の部分点としました。パソコンの設置については、ノート PC へのリプレイスに関する解答は別解としました。

問2 Web 受注システムの基盤設計

【別解】

〔設問 3〕(2) コストを削減できる。

【解説】

問題文を写すだけでは得点できない場合が多いです。問題文に記述してある内容から得られる結論を解答に盛り込むようにしましょう。この問題では、最後の設問が、それに該当します。

〔設問 1〕近似式を使えるようにしておきましょう。厳しいですが、正解以外部分点なし、としました。

〔設問 2〕設問文の条件を満足する解答を作成しましょう。設問に解答の選択肢が挙がっているため、それ以外を解答した場合はすべて不正解としました。

〔設問 3〕(1) 意味は合っても「可用性要件」というキーワードのない解答は、「可用性」であってもすべて不正解としました。

(2) 表 3 を基にコストを計算すると、K002 が 6 台構成の場合は相対コストが 12、K004 が 3 台構成の場合は 9 となり、コスト削減のメリットもあることが分かります。したがって、「コストを削減できる」を別解としました。

〔設問 4〕(1) 余裕がなくレスポンスが急激に悪化することを表現していれば正解としました。

(2) 問題文に書かれている内容、すなわち、商品テーブルが 8 時間前までに登録されていることから得られる結論を解答に盛り込みましょう。即時性やリアルタイム性が要求されない旨が明示されていない解答については半分の部分点としました。

問 3 勤怠管理システムの設計

【別解】

〔設問 1〕(1) 空欄 a：部門名

〔設問 2〕メッセージ番号 8 の別解を、メッセージ番号 9、操作概要として「残業単価定数、シフト区分名、規定労働時間を取得する」

【解説】

問題文に使われているキーワードはそのまま解答にしましょう。シフト区分コードは、シフト区分と表現されることがあります。本試験ではシフト区分コードと出題されたことがあるので、本問でもそのような表現にしました。このような場合、シフト区分コードの代わりにシフト区分と答えても不正解です。

また、本試験の正解例を分析すると、できるだけ、クラスの属性を使って解答すると高得点できることが分かります。本問では設問 1(3) が、これに該当します。解答をチェックしてみてください。

〔設問 1〕(1) 社員関連情報として図 3 から部門名も必要なことが分かります。したがって、部門名を別解としました。

(2) 高い正答率でした。

(3) 図 4 のクラスの属性を使って解答を表現しましょう。属性を使っていない場合、解答の内容が合っても不正解としました。

(4) 空欄 h の難易度が高かったようです。この設問は、応用情報技術者試験の SQL の問題を基に作成しました。今後はこのような SQL の処理を前提にした問題が出題されると予想できます。

〔設問 2〕シフト区分から残業単価定数を得ることから、メッセージ番号 8 の別解を、メッセージ番号 9、操作概要として「残業単価定数、シフト区分名、規定労働時間を取得」としました。

〔設問 3〕(1) 厳しいですが、部分点はなし、としま

した。

(2) メッセージ番号のみを問う設問なので、後半の設問にしては高い正答率でした。

問 4 ハンディナビゲーションシステムの分析

【別解】

〔設問 5〕不揮発性メモリのアップデートが可能であることを根拠に、媒体交換、インターネットや FM 放送の経由したソフトウェアや地図情報のアップデートを指摘した解答についても正解としました。

【解説】

〔設問 1〕(1) 空欄 b と空欄 c は問題文で 2 箇所あります。一般的には後半の箇所からの方が解答を絞り込みやすいです。この穴埋め問題もそのように問題設計しています。

(2) 「誤差」だけで、「位置情報の誤差」を明示していない解答については、意味が合っても不正解としました。

〔設問 2〕方位、磁気などを含む表現があれば正解としました。センサの種類について確認するとよいでしょう。

〔設問 3〕(1) 問題の始めにある「カーナビとしての機能を使わない顧客を満足させる」という記述から「顧客満足」というキーワードを解答に盛り込めるようにしましょう。

(2) 設問の情報を、正解を導くヒントにしましょう。設問の「デジタル化する」という記述から、ある情報はアナログ情報であることが分かります。さらに設問の「受信に支障をきたさない放送局を選ぶためには」という記述も解答を導くヒントになります。

〔設問 4〕前の設問 3(2) と同様に、問題文の図 2 がヒントになっています。

〔設問 5〕

前述の別解にあるとおり、ソフトウェアや地図情報のアップデートについての解答も別解としました。

〔合格に向けて〕

みなさん、自分の改善すべき点を確認して、合格を決めましょう。試験形態ごとには次のような改善策があります。参考にしてください。

〔午前 ・ 多肢選択式問題〕

基本は、過去問題を解き、解答解説を含めてしっかりと勉強するようにしましょう。分からない点はテキスト学習でカバーするとよいでしょう。

〔午後 記述式問題〕

過去問題の演習を中心に、解答を鉛筆で書くように

しましょう。解答と正解例のギャップをチェックして、それらに違いが生じた原因を簡単に分析するとよいでしょう。

記述式問題では、設問の条件をすべて満足する解答を作成することが重要です。解答欄に記入する前にもう一度解答をチェックしてみましょう。

〔午後 論述式問題〕

課題を明示してから工夫や能力をアピールする展開はもちろんのこと、設問アで述べた、システムの特徴、ユーザ特性、業務特性など踏まえる展開を、設問イでできるようにしてみましょう。

- 以上 -